

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	地理歴史・日本史A	学年	第2学年	教科書	東京書籍「日本史A 現代からの歴史」
		単位数	2単位	副教材	東京書籍「日本史A ワークシート」

学習目標
 近現代史を中心に、世界史的視野に立って日本の歴史や文化を考察することにより歴史的思考力を身につけ、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての資質を養う。

学習方法
 ○文字資料や写真、映像等の資料を活用し、歴史的事項の把握とその問題点を考察する。
 ○国際社会における日本の課題を生徒の討議や発表を通して考え、歴史的視点や思考の能力を養う。
 ○学習した事項を手がかりにして、現在の日本および世界で発生しているさまざまな事象や課題について考察する。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	a	関心・意欲・態度	日本史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	
b	思考・判断・表現	日本史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的、多角的に考察し、文化と伝統についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。		
c	資料活用の技能	日本史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的現象を追求する方法をみにつけ、考察の過程や結果をまとめている。		
d	知識・理解	日本史の展開についての基本的な事柄を、世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法	
					a	b	c	d			
前期	近代日本と世界	14	近代日本の形成	国際情勢の変化と明治維新	○	○			a:近代国家形成の過程と国際関係の推移について関心を持ち、意欲的にとらえようとする。 b:近代国家の形成の過程を考察し、その結果を適切に表現できる。 c:近代国家形成の過程について、図や史料を有効に活用して、適切にまとめている。 d:近代国家形成の過程と国際社会の推移について理解している。	・プリント学習 ・課題提出 ・前期中間試験 ・前期期末試験	
				明治新政府の諸改革	○		○	○			
				立憲国家の成立		○		○			
	東アジア世界の変動と日本	14	日清戦争と近代社会の確立	○		○	○	a:日清・日露戦争前後の我が国の動向に関心を持ち、意欲的にとらえようとする。 b:日清・日露戦争前後の我が国の動向を国際環境と関連付けて考察し、その結果を適切に表現できる。 c:日清・日露戦争前後の我が国の動向について、図や史料を有効に活用して、適切にまとめている。 d:日清・日露戦争前後の我が国の動向について、国際環境と関連づけて理解している。			・プリント学習 ・課題提出 ・前期期末試験
日露戦争と帝国日本の形成			○		○	○					
後期	近代日本と世界	18	二つの世界大戦と日本	第一次世界大戦と帝国日本		○	○		a:近代日本の発展と国際関係の変化に関心を持ち、意欲的にとらえようとする。 b:近代日本の動向を国際情勢と関連づけて考察し、その結果を適切に表現できる。 c:近代化の進展にともなう社会の変化について、図や史料を有効に活用して、適切にまとめている。 d:近代日本の動向について、国際環境と関連づけて理解している。	・プリント学習 ・課題提出 ・後期中間試験	
				政党政治の時代			○				
				軍国日本への道	○	○					
				太平洋戦争	○	○	○	○			
後期	現代日本と世界	9	第二次世界大戦後の国際社会と日本	現代世界の開幕と日本の戦後改革	○	○	○	a:日本の戦後復興と民主化の過程に関心を持ち、意欲的に追求している。 b:戦後日本の発展を国際社会の変化と関連付けて考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:戦後日本の発展と国民生活の変化について、資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、まとめている。 d:現代日本の動向について、国際社会の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	・プリント学習 ・課題提出 ・学年末試験		
				高度経済成長の時代		○	○				
		9	現代の世界と日本	国際秩序のゆらぎと経済大国日本	○	○	○				
				冷戦の終焉と日本	○	○	○				
合計時数(55分授業)		64									